学校番号	３２７

令和８年度　国語科（国際文化科）

教科	国語	科目	古典講読	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・３年生では２年生で学んだ基本的な古典の力を活用することを心がけましょう。
・読みを中心とした発表など、アクティブな活動を取り入れた授業も行います。
・有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、心情等を理解するために語彙力や文法の知識を身に付けましょう。特に、読解に必要な文法事項については本文中にて確認していきます。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。
【知識及び技能】
我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
古典を通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、関心を持った事柄に関連する様々な古典の作品や文章などをもとに、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・各教材について調べてことや知っていることを話し合おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	登場人物の人間関係を正確につかみ、物語中の人物描写を味わい、それぞれの心理の動きをたどる。 ［教材］ 源氏物語「夕顔の死」	a:『源氏物語』の主要な登場人物を調べ、人間関係を的確に理解している。 b[読]:物の怪の不気味さと、源氏の対応・心情を読み取り、説明している。 c:当時の婚姻制度や身分社会を踏まえ、光源氏が置かれた境遇について説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	観察 ノート ワークシート
	物語作品などへの憧れと夢を抱く作者の心情を理解する。 ［教材］ 更級日記「門出」	a:文中の敬語を抜き出し、その用法について理解している。 b[読]:冒頭から門出に至るまでの作者の心情を読み取り、その変化について説明している。 c:『更級日記』や作者について関心をもち女流文学への理解を深めようとしている。現代の日記と古典における日記文学の違いについて的確に理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	観察 ノート ワークシート
2学期	様々な人物像をとおして、人間の生き方についての考えを深める。 ［教材］ 史伝－史記「鴻門の会」	a:長い文章を読み、文章の構成や展開の仕方について、正確に理解している。 b[読]:描写された人物の位置関係やそのしぐさ、主張などを正確に読み取り、説明している。 c:『史記』について興味をもち、時代背景や地理的関係を調べたり、登場人物の行動や心情について考えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	観察 ノート ワークシート
	『大鏡』の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。 ［教材］ 大鏡「道長の豪胆」	a:文章の種類とその特徴について理解を深めている。本文で用いられている助動詞や敬語について理解している。 b[読]:登場人物の関係性を正しく読み取り、説明している。 c:本文中の言動から道長・道隆・道兼の性格を分析し、捉えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	観察 ノート ワークシート
3学期	近世小説を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 ［教材］ 「大晦日は合はぬ算用」(井原西鶴)	a:近世文学の特徴について理解を深めている。近世文学の文学史を理解している。 b:[読]:小説の流れ、登場人物の動きや心情を正しく読み取り、説明している。 c:町人(西鶴)から見た武士の世界はどのような者であったかを考えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	観察 ノート ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　—　）時間

・書くこと　…　（　—　）時間

・読むこと　…　（　６６　）時間